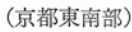


び木製品としては、呪符・柿経・塔婆・題籤軸・漆器・折敷・下駄・木球・墨書板・陽物形などがある。

- 8 木簡の釈文・内容

[illegible]

- (20) ×千二百五 (62)×16×1
- (21) ・〈南無阿弥陀仏 藤原氏女〉
・〈南無観世音菩薩 705×63×3
- (22) 〔大日如来〕 195×26×3
- (23) 〔運上目六 (150)×14×3
- (1)〜(4)は呪符で頭部を山形に削っているものもある。(1)・(2)は釘穴がある。(5)〜(20)は柿経で、頭部は五輪塔状をしめしている。(13)・(14)・(16)・(19)は頭部を黒く塗っている。(5)〜(9)は解・脱・等・娛・楽の文字を一枚に各五文字ずつ墨書し、その五枚を木釘で打ちつけて一つにまとめている。(10)・(11)も同じく五文字ずつ書かれているが釘で止めた痕跡はない。「解・脱・等・娛・楽」は妙法蓮華経卷二譬喩品第三に、「沙・慎」も妙法蓮華経卷四化城喩品第七にみえる。
- (21)・(22)は塔婆である。(23)は題籤軸である。なお、呪符・柿経については、木下密運氏より御教示を得た。
- 9 関係文献
- 京都市文化観光局・鈔京都市埋蔵文化財研究所『鳥羽離宮跡発掘調査概報 昭和六二年度』(一九八八年)

9
関係文献

京都市文化觀光局・（財）京都市埋藏文化財研究所『鳥羽離宮跡発掘調査概報 昭和六二年度』（一九八八年）

(鈴木久男・前田義明)